

第18回 にかほ市読書感想文募集要項

行動制限のない夏休み。

政府は、経済活動と新型コロナウイルス感染症を両天秤にかけて、経済の方を取った。3年もの間、帰省もできず、子にも孫にも会えない、旅行もできないというのは、確かに辛いことだが…。またたく間に、感染者数は増加。死者の多くが高齢者ということが心配でならない。オミクロン株にも対応する新ワクチンが早急に、みんなに接種できるようになることを願うばかりだ。

私たちは、コロナに負けず、今年も読書の秋を満喫し、心に残った本の感想文を綴りましょう。

今年度も、にかほ市では下記の要領で、読書感想文を募集します。高校生以上、年齢制限なしです。たくさんのご応募をお待ちしております。

1 応募資格 にかほ市在住の高校生以上の学生（仁賀保高校通学者可）及び一般の方。

2 対象図書

一般用課題図書

応募作品は次の作品から選んでください。

課題図書は図書館こびあ、仁賀保分館、象潟分館にもあります。

☆「大放言」 百田 尚樹 著 （新潮社）

大マスコミ、バカな若者、無能な政治家、偽善の言論を縦横無人にメッタ斬り！炎上発言の真意から、社会に対する素朴な疑問、大胆すぎる政策提言まで、数々の物議を醸してきた著者が思考停止の世間に一石を投じる論考集。

☆「ことり」 小川 洋子 著 （朝日新聞出版）

図書館司書との淡い恋、鈴虫を小箱に入れて歩く老人、文鳥の耳飾りの少女との出会い…。世の片隅で小鳥のさえずりにじっと耳を澄ます兄弟の一生を描く、やさしく切ない長編小説。

☆「ジキルとハイド」 ロバート・L・スティーヴンソン 著 （新潮社）

ロンドンの高名な紳士、ジキル博士の家に入りし始めたハイドという男は、人に嫌悪や恐怖を抱かせるうえ、ついに殺人事件まで起こしてしまう。しかし、実はジキルが薬物によって邪悪なハイドへと姿を変えており…。

☆「飛族」 村田 喜代子 著 （文藝春秋）

朝鮮との国境近くの島で、老女が2人だけで暮らしている。ウミ子の母親で92歳のイオと、その海女友達で88歳のソメ子だ。彼女たちの厳しい海辺暮らしと、シンプルに生きようとする姿を描く。

☆「天平の躰」 井上 靖 著 （新潮社）

鑑真来期という日本古代史上の大きな事実をもとに、極限に挑み、嵐の中の木の葉のように翻弄される僧たちの運命を、大きな歴史のうねりの中に鮮明なイメージで定着させた画期的な歴史小説。

☆「同志少女よ、敵を撃て」 逢坂 冬馬 著 （早川書房）

独ソ戦が激化する1942年、母をドイツ軍に惨殺され、赤軍の女性兵士に救われた少女セラフィマは、復讐のため、訓練学校で一流の狙撃兵になることを決意する。訓練を重ねた彼女は、やがてスターリングラードの前線へ…。

自由図書

自由に選んだ図書（小説等）

（うらへつづく）